

教育委員会会議録（12月定例会）

日 時

平成25年12月20日（金）
午後3時00分から午後3時40分まで

場 所

教育プラザ ギャラリーB室

出席委員

委員長	花田 和郎
委員長職務代行者	伊藤 吾子
委 員	森嶋 鎮一郎
委 員	上村 由美
教育長	中山 俊恵

委員以外の出席者

教育部長	作間 忍
総務課長	窪田 康徳
学校施設課長	関根 博之
学務課長	大友 正徳
学務課課長	矢板 恭介
生涯学習課長	齋藤 淳
スポーツ振興課長	住谷 玲
新体育館建設課長	千葉 忠好
指導課長	内山 信弘
郷土博物館課長	村田 和雄
記念図書館長	大竹 勉
教育研究所長	大沢 靖司
視聴覚センター所長	鈴木 士郎
宮田調理場長	鈴木 伸之
総務課副参事(兼)庶務係長	川崎 浩行
総務課課長補佐(兼)計画財務係長	滑川 達也
総務課主幹	鈴木 由紀恵
総務課主事	宇佐美 亮

議 事

1 報 告

報告第12号 教育委員会11月定例会の会議録について

2 その他

- (1) 平成25年第4回市議会定例会について
- (2) 通学(園)路危険箇所の緊急合同点検に伴う対策状況等について
- (3) 第14回日立さくらロードレースの開催について
- (4) 第60回日立市教育論文の応募状況、審査結果及び教育論文表彰について
- (5) ケーブルテレビを利用した「テレビ学習室」について
- (6) その他
- (7) 次回の教育委員会の日程について

会 議 の 概 要

1 開 会

午後3時00分

委 員 長

それでは、定刻となりましたので、只今から12月の教育委員会定例会を開催します。

今月の定例会の傍聴希望者はありません。

2 報 告

報 告 第 1 2 号

教育委員会11月定例会の会議録について

委 員 長

報告第12号について、御意見を伺います。いかがでしょうか。

全 委 員

特にありません。

(本件については原案どおり承認されました。)

3 そ の 他

(1) 平成25年第4回市議会定例会について

委 員 長

続きまして、その他に移らせていただきます。

その他(1)について、教育部長から説明をお願いします。

教 育 部 長

平成25年第4回市議会定例会について、報告します。

会期は、平成25年12月5日から12月19日までです。

一般質問のうち、教育委員会関係については、5名の議員から質問がありました。

まず、公明党の薄井議員からは、茨城国体に向けての取組についてということで、3点質問がありました。

1点目は、競技力向上の取組についてということで、市の開催予定の競技種目や、競技力向上の取組と今後の考えについて、質問がありました。

これに対してですが、日立市で開催予定の競技種目は、卓球、バスケットボール、軟式野球競技で、これらの種目については、地元企業の御協力を得て、中学生を対象とした講習会を実施してきました。市内の子どもたちの中から国体に出場する選手が出るように、今後とも、企業や競技団体等と協議を重ね、種目の拡大等を図って

いきたいと考えています。

2点目は、市民意識の醸成についてということで、本市の特色のあるスポーツイベントの実施について提案がありました。

これに対してですが、茨城県では、一般の皆様が参加できるデモンストレーションスポーツの開催を、各市町村に呼びかけています。これは、選手以外の方でも、デモンストレーションスポーツに参加することによって、国体参加記念章をもらえるというものです。本大会を盛り上げるのに大変効果的であるとみて、本市においても、開催を検討していきます。また、現在実施しているスポーツイベント等を国体開催の記念事業と位置付けることも、併せて協議していきます。

3点目は、おもてなしについてということで、国体開催期間中の観光・物産のPR方策、選手・観客等をお迎えするための宿泊先や人的確保について、質問がありました。

これに対してですが、日立市としても、国体を日立市の魅力を全国に発信する絶好の機会と捉えて、PRしていきたいと考えています。また、大会期間中の選手・役員は最大で1日800名程度で、さらに一般観客を合わせると、大変多くの方がお見えになると予想されますが、宿泊施設は現状で十分にまかなえるものと考えています。人員については、競技団体やコミュニティ等に御協力をお願いするほか、市民ボランティアを募るなど、市民の皆様の御参加をいただきながら、準備を進めていきたいと考えています。

また、再質問という形で、宿泊施設の対応マニュアルについて質問がありましたが、これに対しては、関係団体と協議、検討していく旨伝えました。

さらに薄井議員からは、要望として、市民や来られた方々に、夢や希望を与えられるような祭典となるよう、早くから構想を持ってほしいという意見がありました。

日立市政クラブの黒澤議員からは、地域の実情に合わせた小学校区の見直しについて、質問がありました。

内容としては、コミュニティの区割りと小学校区の区割りが、必ずしも一致しているわけではないということで、学区の見直しを検討するべきではないかというものです。

これに対してですが、それぞれの区割りは概ね一致してはいるものの、ねじれ現象があることも事実です。子どもたちの通学路は、安全、安心が一番だと考えていますので、そういった観点から、必要がある場合には見直しを検討していきます。

日本共産党の小林議員からは、全国学力テストの実施についてということで、2点質問がありました。

1点目は、全国学力テストを実施しないことについてということで、過度な競争が学ぶ楽しみを奪うなど弊害の多い全国学力テスト

は、実施すべきではないのではないかというものです。

これに対しては、学力テストの問題が、学力を確かめることに関して素晴らしい問題であるということと、今現在、学校において授業の改善、学習指導の充実などに利用していることから、来年度も実施していきたいと考えているということを伝えました。

2点目は、学校別の成績公表を認める文部科学省の発表についてということで、教育委員会としての対応について質問がありました。

これに対しては、今後の調査結果の公表については、教育上の効果や影響もあるので、学校や保護者、地域の意見を伺いながら慎重に検討していきたいと考えている旨伝えました。

小林議員からは、要望として、序列化して競わせるのではなく、子どもたちの知りたい、学びたいという意欲を大切にしてほしいという意見がありました。

民主クラブの高安議員からは、スポーツ振興についてということで、スポーツによる活性化について、2点質問がありました。

1点目は、交流人口拡大のため、大会や合宿の誘致を行ってはどうかというものです。

これに対しては、経済効果や地域の活性化のほか、施設の有効活用、知名度のアップなどの効果が期待できますので、今後検討していく旨伝えました。

2点目は、スポーツ広場について、専用化や芝生化を検討してみてもどうかというものです。

これに対してですが、まず、専用化については、今年度、利用者や競技団体に対して意向調査を実施し、具体的に検討を始めたかと考えています。芝生化や人工芝化については、整備費用や整備後の維持管理のための利用制限等の大きな課題があります。

高安議員からは、要望として、ハード面の整備については、早い段階に方向を示してほしいという意見がありました。

ひたち未来の伊藤議員からは、大型事業と健全財政との整合性についてということで、各事業の財政フレームと財政構造及び事業費総額の削減やコスト縮減について、質問がありました。

内容としては、新庁舎、大みか駅、BRTなど、大型事業が進行している中、教育委員会としても、新中央体育館建設事業を進めているため、その財政フレーム、財政構造、コスト縮減などについて、見解を問われたものです。

これに対してですが、事業費総額は約50億円を想定していて、その財源としては、約25億円を国庫支出金、約24億円を合併特例事業債、約1億円を一般財源としています。事業費総額の削減についてですが、これまで、有資格者によるバリューエンジニアリングの手法を取り入れながら、建設コスト縮減と機能向上に向けての

検討を行ってきました。また、第3者機関によるコンストラクション・マネジメント等の導入については、今後、構造上の変更等があると、工程管理が複雑化すること、資材や人員の不足により、本体建設工事の遅れも懸念され、その場合、国庫支出金を確保できない恐れがあるので、慎重に検討していきたいと考えています。

伊藤議員からは、要望として、総事業費の抑制、不調の対応について、努力してほしいという意見がありました。

続いて、議案質疑のうち、教育委員会関係については、日本共産党の小林議員から、日立市武道館設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例の制定に関して、質問がありました。

内容としては、市内利用者の使用料を有料にした理由と、学校や少年団の利用者についてどのように考えているのかというものです。

これに対してですが、今回、使用料を見直した理由については、受益者負担の考えに基づき、施設を利用される際に、応分の負担をお願いするためです。また、子どもたちや、高齢者、障害者の利用については、軽減措置を講じていきたいと考えています。

次に、教育福祉委員会についてですが、今回は、各施設の使用料や、校舎耐震補強工事の請負契約等、9件の議案がありまして、全ての議案が承認されました。

委 員 全国学力テストについて、市町村の判断で実施しないとすることはできるのですか。

教 育 部 長 教育委員会の判断で、実施しないとすることができます。
学力テストについては、毎年、実施要項等を確認しながら、実施するかを判断しています。

委 員 今年度、県内で学力テストを実施しない市町村はありましたか。

教 育 部 長 ありません。
第1回の学力テストでは、愛知県犬山市が不参加となっていました。現在は、おそらく全ての公立学校が参加していると思います。

委 員 学区のねじれ現象についてですが、この現象により、特に問題は生じていないのですか。

教 育 部 長 議員からは、地域における防災訓練を実施するときに、お年寄りがコミュニティの区割りによって参加するのに対し、子どもたちは、同じ地域に住んでいても、小学校区の区割りが異なる場合、防災訓練に参加しないということがあるため、やりづらさを感じると

いう意見をいただいています。ただ、今回の答弁を受けて、子どもたちの安全面が大事なので、学区は変更しなくともよいのではと思ってきたということでした。

委員 ねじれ現象が起きている学区は、どのくらいあるのですか。

学務課長 3学区程度と認識しています。

委員 不都合もあると思うので、できれば区割りが一致していればいいなという気がします。ただ、学校だけの問題ではないので、コミュニティ推進会の担当課などと相談をさせていただければと思います。

(2) 通学(園)路危険箇所の緊急合同点検に伴う対策状況等について

委員長 それでは次に、その他(2)について、学務課長から説明をお願いします。

学務課長 通学路及び通園路危険箇所の緊急合同点検に伴う対策状況等について、報告します。

平成24年度に点検した危険箇所数は、252か所です。そのうち、159か所については、すでに対策が済んでいます。残りの93か所については、対策予定箇所として、本年度予算や各種公金等を活用しながら、年次計画で進めていくよう、関係機関にお願いしているところです。

平成25年度に点検した危険箇所数は、平成24年度に点検したものを除いた158か所となります。そのうち、路面表示による対策などの所管課による通常業務対応が36か所で、それ以外の122か所について、合同点検実施箇所として対策を講じています。

10月末の時点で45か所の対策が済んでおり、現在、国道、県道、市道の所管課、警察署、安全担当課、学校、幼稚園などの関係機関と連携して、残り77か所について安全対策の実進を進めているところです。

委員 平成24年度の252か所とは別に、今年度、新たに精査した結果、158か所の危険箇所があったということですか。

学務課長 そのとおりです。

(3) 第14回日立さくらロードレースの開催について

委員長 それでは次に、その他(3)について、スポーツ振興課長から説明をお願いします。

スポーツ振興課長 第14回日立さくらロードレースの開催について、説明します。
開催日は、平成26年4月6日、日曜日です。
受付は、平成26年1月7日から開始します。
今回は、ハーフマラソンの定員を3,500名から4,000名に、10Kmの定員を前回の4,500名から4,000名に変更しました。
また、今回から、市民運動公園陸上競技場にある大会窓口での申込受付は行わないこととしました。

委員 国道6号日立バイパスを走るようになってから、参加者が増えてきているようですね。

スポーツ振興課長 最初にバイパスをコースとした平成22年には、最多となる1万8千人程度の参加がありましたが、その後、23年が1万6千人、24年が1万4千人、25年が1万7千人の参加という状況となっています。

委員 さくらロードレースでは、参加賞としてTシャツを配っていますが、他の地域ではその地域の特産物を配っているところもあると聞きました。参加者から、参加賞についての希望などはあつたりするのですか。

スポーツ振興課長 現在のTシャツは概ね好評ということは聞いていますが、参加賞について、主催である体育協会等と話をしてみたいと思います。

委員 参加者は市外の方も増えてきていますか。

スポーツ振興課長 日立市内の方の割合は43%ですので、半分以上が市外の方となっています。

委員 市外の方も多く参加されているようですので、日立市をPRできるような参加賞についても考えていただければと思います。

(4) 第60回日立市教育論文の応募状況、審査結果及び教育論文表彰について

委員長 それでは次に、その他(4)について、指導課長から説明をお願いします。

いします。

指導課長 第60回日立市教育論文の応募状況、審査結果及び教育論文表彰について、説明します。

今年度の応募総数は、昨年度より多い25編で、応募者総数は、219名です。

研究分野別の応募状況については、算数・数学が5編と一番多く、次いで、技術・家庭が4編となっています。

入賞論文は、最優秀賞が2編、優秀賞が1編、優良賞が9編となりました。

優秀論文の表彰は、例年、教育振興大会Ⅲの中で行っていましたが、今年度は、1月31日に消防拠点施設で開催する第3回学校長・園長連絡会議の終了後、同会場で行います。

委員 一般の先生方は、論文発表を聞くことができないのですか。

指導課長 今年度は、論文の表彰と発表を分けまして、発表については、平成26年度教育振興大会Ⅰの中で行います。教育振興大会Ⅰには一般の教員も参加できますので、論文発表を聞くことができます。

(5) ケーブルテレビを利用した「テレビ学習室」について

委員長 それでは次に、その他(5)について、指導課長から説明をお願いします。

指導課長 ケーブルテレビを利用したテレビ学習室について、今年度、試行的に実施した結果を報告します。

テレビ学習室は、平成25年7月6日から11月1日までの約4か月間、午後7時から30分間放送しました。

放送内容は、小学校5、6年生を対象とした外国語活動4番組、中学校1年生を対象とした数学4番組です。

また、J-WAYに加入していない世帯もありますので、全放送分のDVDを作成し、各学校の全学級、図書館、視聴覚センターに配布しました。

10月9日には、視聴状況に関する調査を実施しました。

調査対象は、市内小・中学校の番組対象学年から各校1学級ずつ抽出した、小学校5年生635人、6年生637人、中学校1年生476人です。

まず、視聴率ですが、DVDでの視聴者も含め、小学校5、6年生が10.1%、中学校1年生が25.4%となっています。

番組内容の理解度は、小学校外国語活動については85%、中学校数学については98%の児童生徒が、「分かった」と回答しています。

家庭学習の貢献度については、小学校5・6年生の67.5%と中学校1年生の64.4%が、家庭学習に役立つと回答しています。

また、「もう少しおもしろくしてほしい」、「分かりやすくしてほしい」、「他の教科の番組も見たい」というような番組内容に関することや、放送時間帯に関すること、番組・放送のPRに関することについて、意見、要望がありました。

今後の対応については、調査結果を踏まえて、番組内容や周知方法の充実・改善を図っていきたいと考えています。

委員 視聴率については、どのようにみていますか。

指導課長 視聴率は、DVDでの視聴も含めた場合のもので、実際にケーブルテレビを活用しての視聴率は把握していませんが、もっとたくさん活用していただきたいと考えています。そのため、番組内容や周知方法などについては、さらに改善していく必要があると考えています。

(6) その他

委員長 それでは、その他で、ほかにある方はいらっしゃいますでしょうか。

郷土博物館課長 平成26年1月2日から2月23日まで、北茨城市にある茨城県天心記念五浦美術館で、日立市郷土博物館で所蔵する作品の展示を中心とした、「花が咲き、鳥は遊ぶ」という展覧会が開催されます。

日立市郷土博物館では、日立市出身の五島耕畝をはじめ、荒木寛畝とその一門の作品を多く所蔵しています。今回の展覧会は、それらの作品を、県立美術館で所蔵している作品に加えて展示するものです。

現在、博物館は工事期間中ですので、このように他の美術館等で作品を紹介していただけるのは、大変ありがたいことだと思いますし、近代花鳥画の秀作を一堂に見られる機会は少ないので、ぜひご覧になっていただきたいと思います。

委員長 それでは、ほかにある方はいらっしゃいますか。

生涯学習課長 平成25年12月1日に日立新都市広場マーブルホールで開催した、青少年のための科学の祭典・日立大会について、報告します。
参加者数は1,200名で、どのブースにもたくさん子どもたちが集まりました。

主催である少年のための科学の祭典・日立大会実行委員会からは、「毎年千人を超える参加があり、科学の祭典は日立市に定着している。これからも、科学の目を育てるため、継続して続けていきたい」とのコメントをいただきました。

(7) 次回の教育委員会の日程について

委員長 それでは、次回の教育委員会の日程について、総務課長からお願いいたします。

総務課長 平成26年1月24日、金曜日に、日立市教育プラザで午後3時30分から開会予定です。

5 閉 会 午後3時40分

委員長 それでは、以上をもちまして、教育委員会12月定例会を終了いたします。